



## 国際助産師連盟

### ICM 用語集

#### 助産師教育の世界基準 2010 年

#### International Confederation of Midwives Glossary of Terms Used in ICM Global Standards for Midwifery Education 2010

|   |
|---|
| <b>自律的</b>  |
| 自主管理および自主規制：自分で決めたことや行動に責任を持つ                                   |
| <b>入学</b>   |
| 助産課程に学生として入るプロセス  |
| <b>成人学習</b>   |
| 成熟した学生の生涯目標、これまでの学習基盤、人生経験に基づいた学習への積極的な参加                       |
| <b>アセスメント</b>   |
| 学習成果の達成や求められる能力に関する学生の実践や進歩を評価するために用いられるプロセス                    |
| <b>基礎科学と社会学</b>   |
| 人間の状態/行動を理解する基盤となるカリキュラムの内容                                     |
| <b>能力に基づく教育</b>   |
| 学習の成果として前もって定められた一連の能力を学生が身につけ、実証することができるようになるための十分な教え、学び、評価の活動 |
| <b>能力（コンピテンス）</b>   |
| 定められた熟練度で特定の任務を行うことができるようになる知識、精神運動、コミュニケーション、意思決定スキルの組み合わせ     |
| <b>カリキュラム</b>   |
| 理論的および実践的な教育内容と教授法、評価法を定めた体系的なプロセス                              |
| <b>教育基準</b>   |
| 質の高い助産教育に必要な到達度を示した規範/一定の参照ポイント                                 |
| <b>評価</b>   |
| 合意されている基準や特定の能力に関連して、パフォーマンスを測定または評価するために、質的量的データを収集する体系的なプロセス  |
| <b>助産課程の外部評価</b>  |
| 評価を受けている助産教育課程では役割や責任がなく、利益相反もない有資格の助産師評価者による助産課程の評価            |

|  |
|--|
| <b>形成的評価</b>   |
| 学習中の改善を目指した、学生にフィードバックしながら行う現在進行形の学習評価   |
| <b>ガイドライン</b>  |
| 行動の詳細な計画または図例を含む説明、基準を実施するための一連のステップ<br>定義によると、満たすことを期待されている「基準」とは対照的にガイドラインは強制的なもの<br>でない |
| <b>医療専門職</b>   |
| 健康分野の教育を受け、実践資格を得ている個人。例：助産師、看護師、医療提供者、医師  |
| <b>助産師</b>   |
| ICM の「助産師の定義」を満たし、ICM の「基本的助産実践に必須な能力」の教育と研修を受けた者  |
| <b>助産臨床指導者/臨床教員</b>  |
| 実践/実習中、助産学生を教え、観察し、評価するために、能力と意志がある助産実践に従事する経験のある助産師                                       |
| <b>助産師教員</b>   |
| 助産師教育課程を修了し、人文カリキュラム開発、成人学生のための講義/理論教育と実践教育の方法、学生の学びの測定および評価方法を含む教育能力を示した有能な助産師資格を有する者     |
| <b>助産能力</b>  |
| 助産師教育や実践の中で定められた熟練度を示す知識、専門家の行動、特定の技術の組み合わせ  |
| <b>助産師教育</b>   |
| 有能な助産師の養成と助産能力を維持するためのプロセス   |
| <b>助産教員（教育スタッフ）</b>  |
| 助産教員、助産臨床指導者/臨床教員、他職専門家を含む助産課程で学生を教える教員の集団   |
| <b>助産理念</b>  |
| 助産師教育や実践の本質についての信念の声明  |
| <b>助産課程</b>  |
| 有能な助産師育成に必要な講義および実習を含む、組織され体系的に定められた学業のコース   |
| <b>助産師学生</b>   |
| 助産課程の選抜および登録基準を満たした者   |
| <b>助産関係者</b>   |
| 助産課程の決定や実践に影響を及ぼし、かつ影響を受ける個人や組織  |
| <b>実践経験</b>  |
| 知識、技術、行動を習得し、適用し、助産業務で能力を実証するための助産実践の場における学生の時間  |
| <b>実践の場</b>  |
| 助産ケアを実践する施設、地域を含む多様な場  |
| <b>質改善</b>   |
| 活動の有効性を判断し、必要な改善をする継続的なプロセス  |
| <b>学歴の認定</b>   |
| 現在の助産課程の入学に関連する学生の過去の学習や経験を評価したり、認定したりする手順やプロセス  |
| <b>規制機関</b>  |
| 専門職の業務基準の設定に責任を負う正式な権限がある組織で、教育課程や資格登録の認定機関を含む   |

|  |
|--|
| <b>信頼性のある評価法</b>   |
| 同じツールをほかの人も使うことができ、学習成果に関連する学習の進歩について同じ結論が導き出される信頼性のある測定ツールまたはストラテジーの使用                      |
| <b>中等教育</b>  |
| 小学校から始まり 12 年間の学業修了と通常、理解されている   |
| <b>自主管理</b>  |
| 決断に対して責任および説明責任を果たせ、その決定と行為の結果に関する責任を受け入れる能力   |
| <b>総括評価</b>  |
| 確立された学習成果の達成を判断するためのある時点での学習評価   |
| <b>教員の有効性</b>  |
| 学生が学びやすいように、質の高い時宜を得た方法で教員が教えているという根拠  |
| <b>妥当性のある評価法</b>   |
| 一般的に、「妥当性」は測定の概念のことである<br>例：妥当性のある評価ツールは信頼性がなければならず、実際に特定の学習成果と関連した内容や実践領域で学生の学習を測定しなければならない |
| <b>健全性</b>   |
| 基本的人権を促進する環境の中で生活し、仕事をする個人の自由  |

(公社) 日本看護協会・(社) 日本助産師会・日本助産学会訳

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in retrieval system, or transmitted in any form without written permission of the International Confederation of Midwives. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated and that the ICM be informed.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際助産師連盟 (ICM) から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の転載を禁じます。ただし、短い引用 (300 語未満) に関して、許可は不要ですが、その場合は出典を明記し、ICM へご連絡ください。

Copyright © (2010) by ICM- International Confederation of Midwives,  
Laan van Meerdervoort 70, 2517 AN The Hague, The Netherlands